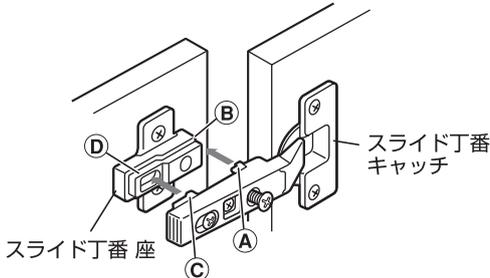
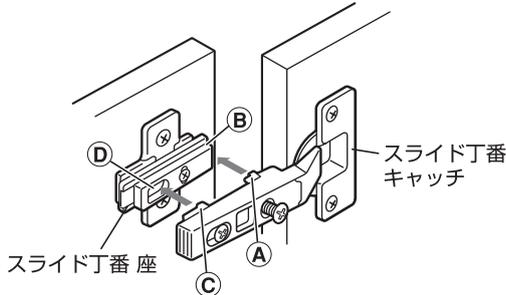
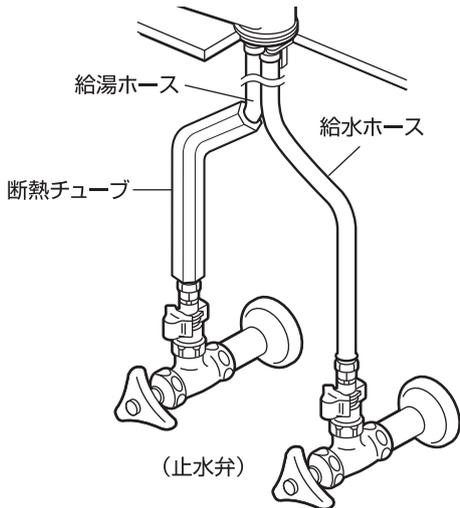
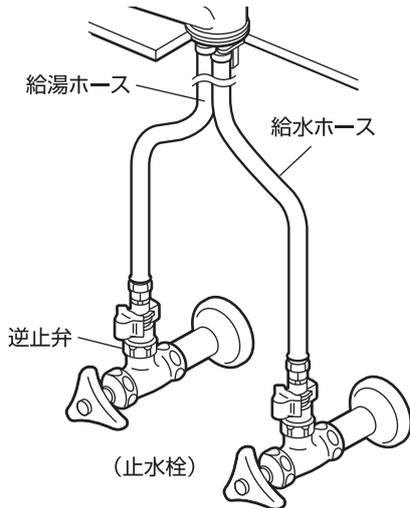


おことわり

このたびは、Combi 調乳ユニットCU22をお買い上げいただきましてありがとうございます。
本書に一部訂正がございますので、本紙にて訂正内容をご案内させていただきます。本書とともに必ず保管していただきますようお願いいたします。

訂正内容

該当ページ	変更前	変更後
4ページ	水栓金具K87111JV-13 取扱説明書…1部	水栓金具K87111JV-13 取扱説明書・施工説明書…各1部
	逆止弁 MV843D-1S…2個	逆止弁袋入り MV8430-1S…1セット
	断熱チューブ 280…1個 (以下、断熱チューブ)	削除
14ページ	扉の取り付けと取りはずし方法 スライド丁番 イラスト一部修正 	 <p>※スライド丁番座の形状変更と スライド丁番キャッチの中央のネジ削除</p>
16ページ	■吐水口一式交換手順 手順説明文の全削除とイラストの一部修正 	<p>■吐水口一式交換手順 手順説明の詳細は、「水栓金具 施工説明書」 をご覧ください。</p>  <p>※断熱チューブを削除</p>

●製品に関するお問い合わせ

コンビウィズ株式会社

本社 / 〒111-0041 東京都台東区元浅草2-6-7
URL / www.combiwith.co.jp

●修理・点検に関するお問い合わせ / コンビウィズ(株) サービスセンター

[受付時間] 祝祭日を除く、月～金 10:00～17:00

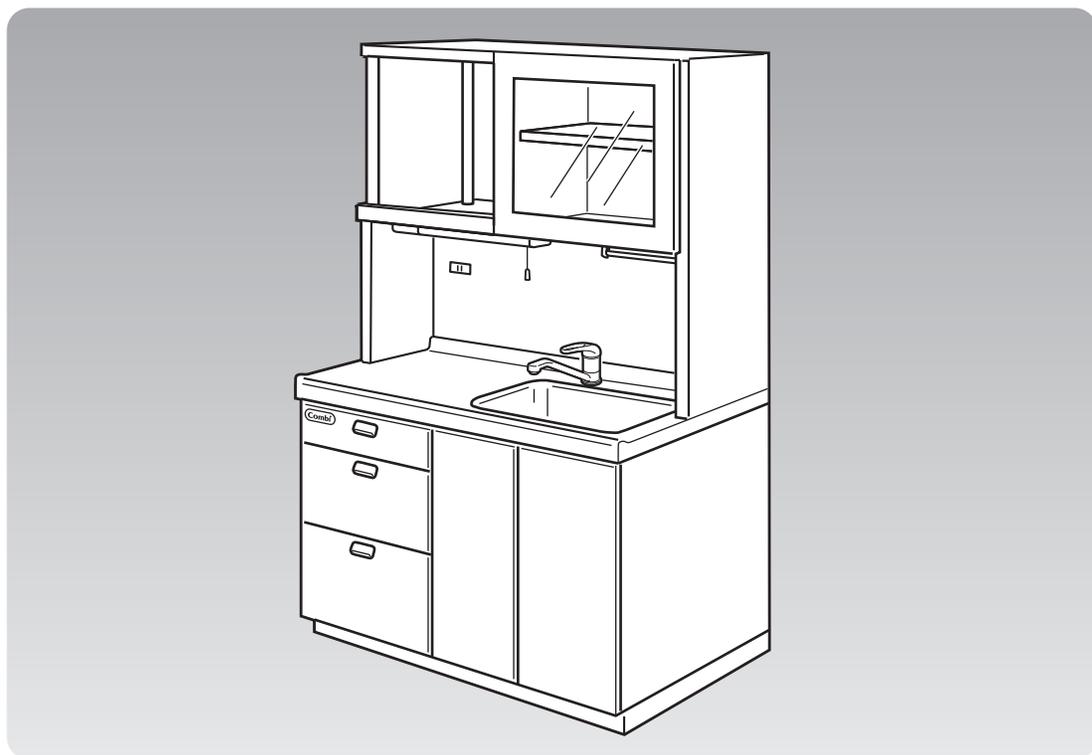
TEL.03-5806-4621 FAX.03-5828-7630

○本書に記載されている文章、イラスト等の無断転載を禁止します。

(A4) 272706420 220207(1)

保存版

Combi 調乳ユニットCU22 取扱説明書・点検マニュアル ＜保証書付＞



本書はCombi 調乳ユニットCU22を安全に、また快適にご使用いただくために必要な内容が記載されています。ご使用前によくお読みの上、正しくご使用・点検ください。また本書は大切に保管してください。

目次

■ 取扱説明書

1 製品の用途.....	2
2 安全にお使いいただくために.....	2
3 施設のかたへのお願い.....	2
日常のお手入れ方法.....	3
4 製品仕様.....	4
5 各部のなまえ.....	4
6 ご使用方法.....	5
7 引き出しの抜け止めストッパー位置確認.....	6
8 キャビネット扉(左右)の開けかた.....	6

■ 点検マニュアル

必要工具.....	7
点検日の記入.....	7
1 日常点検.....	8
日常点検手順.....	9
日常点検チェックシート.....	11
2 定期点検.....	12
定期点検手順.....	12
定期点検チェックシート.....	13

■ 交換手順書

専用台扉の交換手順.....	14
扉の取り付けと取りはずし方法.....	14
扉の調節方法.....	14
ステッカー交換手順.....	15
吐水口一式交換手順.....	16

■ 保証書..... 17

※本書に使用しているイラストは、操作方法などを分かりやすく説明するため、製品とは若干異なる場合があります。

Combi 調乳ユニットCU22 取扱説明書

1 製品の用途

- Combi 調乳ユニットCU22 (以下本製品) は施設内で調乳をするための調乳ユニットです。

2 安全にお使いいただくために

- ここに示した注意事項は、取り扱いを誤るとお子さまや操作しているかたへ危害や物的損害の発生が予想される事項を、危害・損害の大きさ、切迫度により「警告」「注意」に区分し表示しています。ご使用前によくお読みの上、安全のために必ずお守りください。

 警告	この表示を無視し誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
 注意	この表示を無視し誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害が起こる可能性がある内容を示しています。

3 施設のかたへのお願い

 警告	●製品を改造しないでください。 思わぬ事故につながるおそれがあります。
	●製品を安全に使用していただくために、日常点検と定期点検をお願いします。 点検を怠った場合、製品の老朽化や破損が発見されず、ケガや重大事故の原因になります。
	●故障した製品は、放置しないでください。 誤って使用したり、お子さまが遊んだりすると、ケガや重大事故の原因になります。
	●目的以外の用途でのご使用はおやめください。

点検方法は、本書7ページの「点検マニュアル」をご確認ください。

⚠ 警告

- 電子レンジスペースで、オープンやコンロなど、直火や温度が高くなるものを使用しないでください。
(高熱により、火災の原因になります。)
- 電子レンジ使用中は、電子レンジのそばを離れないでください。
(乳幼児がヤケドをしたり、思わぬ事故につながります。)
- 乳幼児にいたずらをさせないでください。
(思わぬ事故につながります。)
- 電子レンジ用のコンセント、および電子レンジ用の電源コードは、必ずアースを配線してください。
(故障や漏電のときに感電するおそれがあります)
- 電源コードのタコ足配線をしないでください。
- 定格容量以上の電気製品を接続しないでください。
- 電子レンジはメーカーの設置基準にしたがって設置してください。
- コンセント部に水がかからないように注意してください。
(ショートしたり、手で触れると感電することがあります。)
- 長期間電源を使用しないときにはプラグを抜いてください。

⚠ 注意

- コンセントは2ヵ所ありますが、電子レンジ用はアース付100V15A定格のコンセントに、もう1本は別配線された100V15A定格のコンセントへ別々に接続してください。
(1ヵ所のコンセントに2本接続すると、ブレーカーが落ちるか、コンセントが異常に加熱することがあります。)
- 濡れた手で電気製品を操作したり、コンセントやプラグに触れないでください。
(感電することがあります。)
- コンセントや差込プラグ、コードが熱くなっているときには、速やかに使用を中止してください。
(そのまま使用すると焦げや発火の原因になることがあります。)
- 調乳、離乳食のあたため以外の目的で使用しないでください。
(調理台として使用すると傷つくことがあります。)
- 大人が踏台の代わりに乗ったりしないでください。
(本体が破損します。)
- キャビネット扉(左右)のスライド丁番の開き角度は100度までとなっています。それ以上開きますと、スライド丁番座を締め付けているビスが抜けて脱落するおそれがありますので、十分ご注意ください。

お手入れ方法**⚠ 注意**

- キャビネット、カウンタートップ部は中性洗剤以外の洗剤を使用することはおやめください。
(プラスチックが劣化し、ひび割れなど破損することがあります。)
- キャビネット、カウンタートップ部はみがき粉や金属たわしなどの使用はおやめください。
(表面が傷つきます。)

- 水栓金具のお手入れについては水栓金具K87111JV-13取扱説明書を、照明のお手入れについては照明用取扱説明書AB46899Lをご参照ください。
- 清掃する場合は中性洗剤を薄めたもので水ぶきし、後で必ず乾ぶきしてください。

4 製品仕様

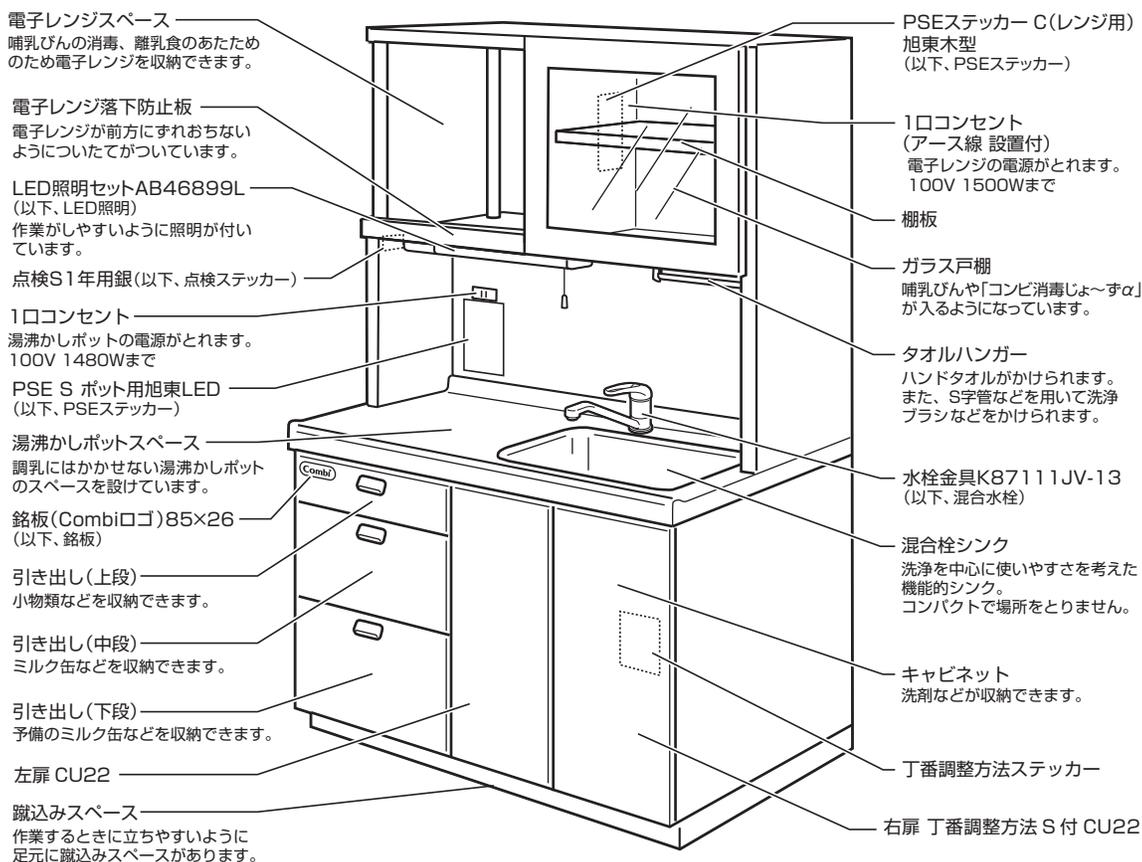
品番	CU22	色	ライトベージュ
製品名	Combi 調乳ユニットCU22	材質	■キャビネット本体/化粧合板(ポリエステル、高圧メラミン)
外形寸法	W1200×D725×H1800mm		■カウンタートップ/化粧繊維板(高圧メラミン)
質量	93kg	耐用年数	10年(機構部品は7年間)
			※耐用年数を経過しましたら、お取り替えをお願いいたします。

※製品の仕様・価格は改良などのため、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

※製品を廃棄される場合は、廃棄物処理法に基づき適正な廃棄をお願いいたします。

※製品の外形寸法および質量は参考値となります。

5 各部のなまえ



次の部品があることを確認してください。

■付属部品

- CU22説明マニュアル(保証書付)(本紙)...1部
- CU22施工説明書...1部
- 施工業者様への手引きCU22...1部
- 水栓金具K87111JV-13取扱説明書...1部
- 照明用取扱説明書AB46899L...1部
- 相談窓口案内ペラ LED...1部
- L金具...2個
- TP皿 3116 C...4本

- コースレットスクルー ...9本
- 棚ダボ...4個
- 電子レンジ転倒L金具...1本
- TP皿 3525 S...4本
- 断熱チューブ 280(以下、断熱チューブ)...1個
- シリコンパスポンド...1個
- 逆止弁 MV843D-1S...2個

6 ご使用方法



- 電子レンジ使用中は電子レンジのそばから離れないでください。
(乳幼児がヤケドをしたり、思わぬ事故につながります。)



- 電子レンジ収納の際は、電子レンジの取扱説明書の設置基準に従った上、できるだけ手前側に設置してください。
- ポットなどをカウンタートップ部に設置する場合は、市販のすべり止め材などをご使用いただき、転倒や落下を防止ください。

使用する電気製品について

●電子レンジ

幅500mm以下、高さ290mm以下、奥行き400mm以下で、かつメーカーの設置基準で、上、後、左右(当キャビネットは左側開口)の壁面までの距離がメーカーの指定どおりであれば設置可能です。上記の条件を満たさない場合レンジ固定金具の取付穴高さがあわない場合がありますのでご注意ください。

●湯沸かしポット

高さ350mm以下の湯沸かしポットをご使用ください。

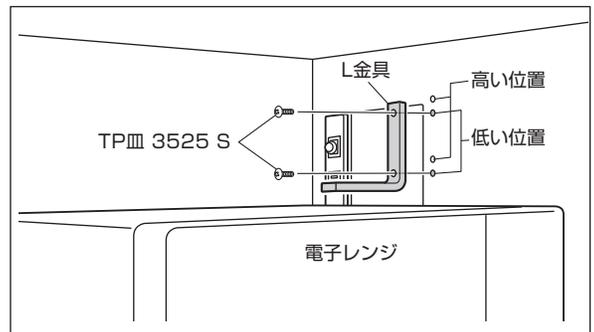
電子レンジ転倒L金具の取り付けについて

ご使用になる電子レンジの高さに合わせ、L金具をTP皿 3525 Sにて固定します。

取り付けの高さ位置は二段階です。

右図をご参照ください。

設置対象機種以外では付属の電子レンジ転倒L金具が使用できない場合があります。



使いかた

1 洗浄する

- ステンレスシンクで哺乳びんや乳首を洗います。

2 消毒・除菌する

- 煮沸消毒や薬液消毒・除菌で行う方法もありますが、「コンビ除菌じょ～ずα」を使えば、哺乳びんなどを電子レンジで5分かけるだけで除菌できます。

3 調乳する

- 湯沸かしポットで調乳します。

4 保管する

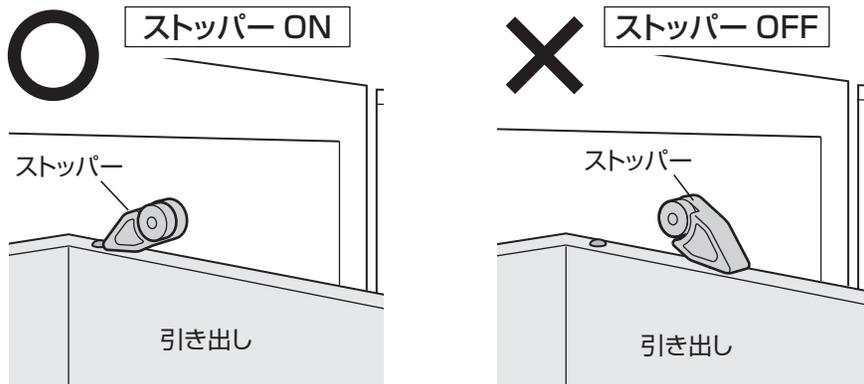
- 乾燥した哺乳びんや粉ミルクを戸棚に保管します。

5 その他

- 離乳食のあたためも電子レンジで簡単にできます。

7 引き出しの抜け止めストッパー位置確認

引き出し内部のストッパーが下図に示す位置(ストッパー ON)になっているか確認してから、引き出しをご使用ください。



ストッパー OFFの状態では、引き出しを取り出すことができます。

8 キャビネット扉(左右)の開けかた

キャビネット扉(左右)を開けるときは、扉の下端を持って開けてください。

Combi 調乳ユニットCU22 点検マニュアル

Combi 調乳ユニットCU22を快適に、また安全にご使用いただくために必要な「日常点検」「定期点検」の内容を記載したマニュアルです。

本書の内容に従い、毎日もしくは週ごとの「日常点検」と1年ごとの「定期点検」を必ず正しく実施してください。
※水栓金具の点検については水栓金具K87111JV-13取扱説明書を、照明の点検については照明用取扱説明書AB46899Lをご参照ください。



製品を安全に使用していただくために、日常点検と1年ごとの定期点検をお願いします。点検を怠った場合、製品の老朽化や破損が発見されず、ケガや重大事故の原因になります。

日常点検

日常点検は動作・目視・触感で行います。点検で異常があった場合、項目によっては工具を使用して点検を行います。

毎日または週ごと

1年定期点検

工具を使用して1年ごとに各部位の点検を行います。

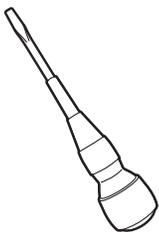
1年ごと

安全に長期間ご使用いただくために、定期点検サービス(有料)をご用意しております。
詳しくは、サービスセンターへお問い合わせください。点検の結果、部品交換が必要な場合があります。
※補修部品の保管期間は生産終了後5年間です。

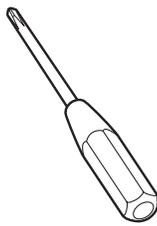
必要工具



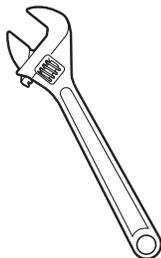
指定以外の部品・工具は使用しないでください。
製品を締結するときは電動工具を使用せず、必ず手締めで、強く締め付けないようにしてください。締め過ぎるとネジ穴部の埋め込みナットがはずれたり、ネジ頭が変形して鋭利な形状になるおそれがあります。



マイナス
ドライバー



プラス
ドライバー(No.2)



モンキーレンチ



ナイロン毛ぶらし
(歯ブラシなど)



やわらかい布
(フキンなど)

点検日の記入

定期点検後、本誌チェックシートの他、キャビネット内側左側面に貼付の点検ステッカーに点検日をご記入ください。

点検年月日	点検者
年 月 日	
年 月 日	
年 月 日	
年 月 日	
年 月 日	
年 月 日	
年 月 日	

点検ステッカー(点検S1年用銀)

1 日常点検

点検の際は11ページの「日常点検チェックシート」をご利用ください。

日常点検は、毎日もしくは週ごとに、動作、目視および触感で行う点検です。点検で異常があった場合、項目によっては工具を使用して点検を行います。

●点検時に異常を発見したら、ただちに使用を中止し、サービスセンターまでご連絡・修理依頼を行ってください。

点検項目	点検方法	判断基準	不良の処置
① 流水性の確認	動作・目視	水・お湯がスムーズに流れること	修理・交換
② 吐水口の動作確認	動作	吐水口の回転がスムーズであること	交換
③ 湯温の確認	動作	設定温度の湯が出ていること	修理・交換
④ 銘板、ネジ類のつぶれ、変形	目視	十字穴などのつぶれ、ネジの変形、錆の発生のないこと	銘板ネジ類：交換
⑤ 本体各部(キャビネットなどに破損、割れの確認)	目視・触感	ひび割れ、爪の引っかかりがないこと	修理・交換
⑥ キャビネット扉(左右)のゆるみやぐらつきがなく、開閉がスムーズであること	動作	手で動かし、ぐらつきの有無の確認、開閉具合、閉まり具合の確認	修理・交換
⑦ 引き出しのぐらつきがなく、開閉がスムーズであること 引き出しのストッパーが効いていること	動作	手で動かし、ぐらつきの有無の確認、開閉具合、閉まり具合、ストッパーの効果の確認	修理・交換
⑧ 跳ね上げ扉のゆるみやぐらつきがなく、開閉がスムーズであること 上に上げたとき、止まること	動作	手で動かし、ぐらつきの有無の確認、開閉具合、閉まり具合の確認	修理・交換
⑨ LED照明の動作確認	動作	LED照明が正常に点灯すること	ユニットの交換
⑩ ステッカーのはがれなど	目視	はがれ、汚れなどないこと	交換
⑪ 配管の破損および水漏れの確認	目視・触感	割れ、破損、水漏れのないこと	修理・交換

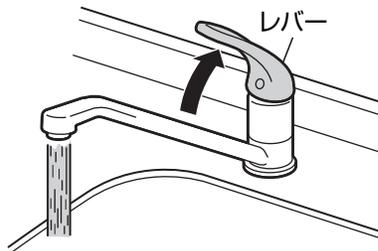
1 日常点検手順

1 流水性の確認(日常点検項目①)

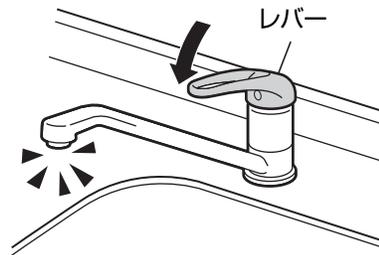
水、お湯がスムーズに流れること

●レバーを上げ下げし、吐水、止水がスムーズに行われるか確認を行う。

吐水



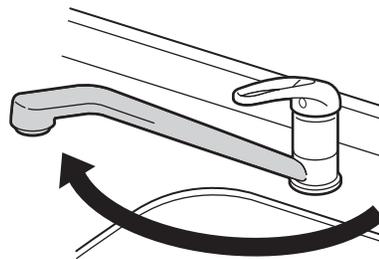
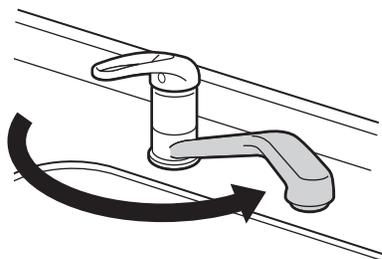
止水



2 吐水口の動作確認(日常点検項目②)

吐水口の回転がスムーズであること

●吐水口を左右にまわし、回転がスムーズであるか確認を行う。



3 湯温の確認(日常点検項目③)

●レバーをまわし、温度調整が行われるか確認を行う。

レバーを右にまわす→水

レバーを左にまわす→温度が上がる

4 銘板のネジ類のつぶれ、変形の確認(日常点検項目④)

十字穴などのつぶれ、ネジの変形、錆の発生のないこと

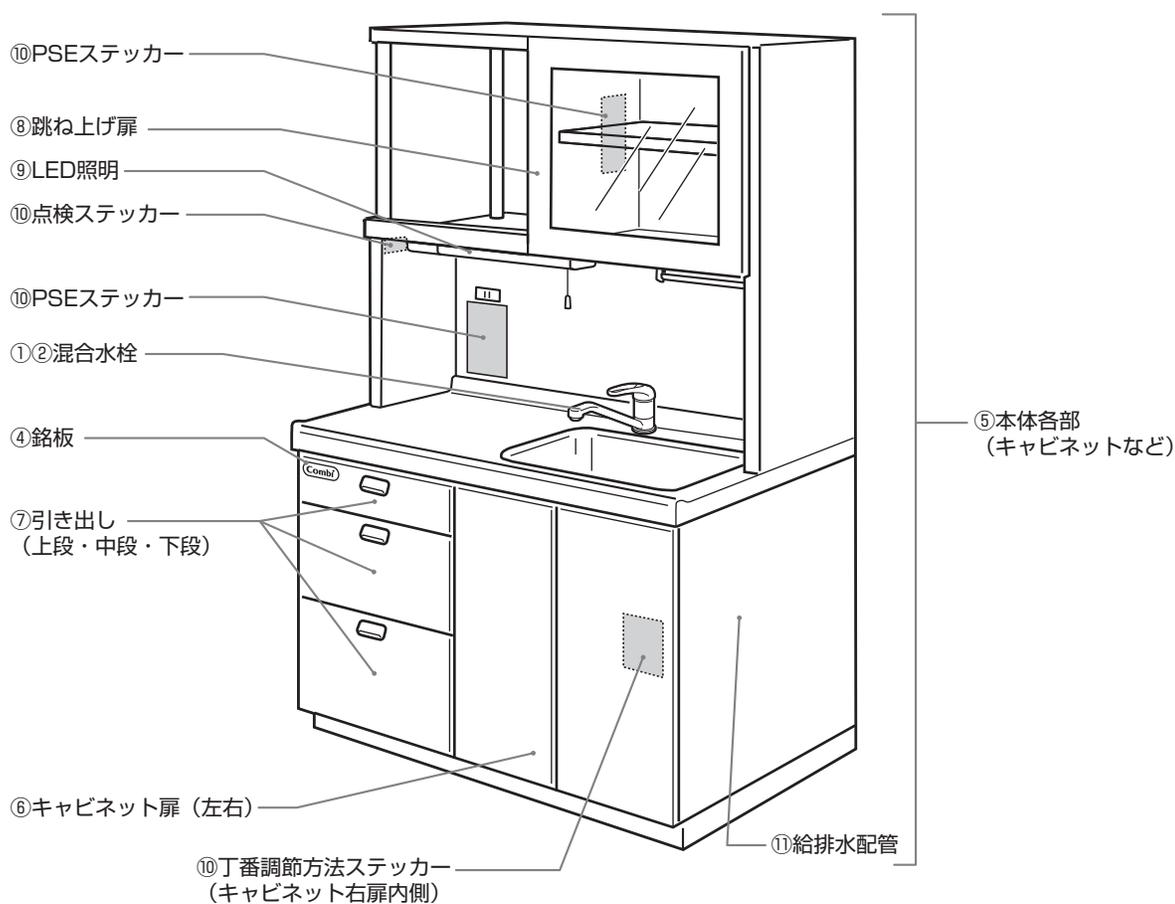
5 本体各部(キャビネットなど)に破損、割れのないこと(日常点検項目⑤)

ひび割れ、爪の引っかかりがないこと

6 キャビネット扉(左右)のゆるみやぐらつきがなく、開閉がスムーズであること(日常点検項目⑥)

手で動かし、ぐらつき有無、開閉具合、閉まり具合の確認

- 7** 引き出しのぐらつきがなく、開閉がスムーズであること、引き出しのストッパーが効いていること(日常点検項目⑦)
手で動かし、ぐらつき有無、開閉具合、閉まり具合、ストッパーの効果の確認
- 8** 跳ね上げ扉のゆるみやぐらつきがなく、開閉がスムーズであること、上に上げたとき、止まること(日常点検項目⑧)
手で動かし、ぐらつき有無、開閉具合、閉まり具合の確認
- 9** LED照明の動作確認(日常点検項目⑨)
LED照明が正常に点灯すること
- 10** ステッカーのはがれなど(日常点検項目⑩)
はがれ、汚れなどないこと
- 11** 配管の破損および水漏れの確認(日常点検項目⑪)
割れ、破損、水漏れのしないこと



2 定期点検

点検の際は13ページの「定期点検チェックシート」をご利用ください。

定期点検は、年1回を目安に定期的に行う点検です。

●点検時に異常を発見したら、ただちに使用を中止し、サービスセンターまでご連絡・修理依頼を行ってください。

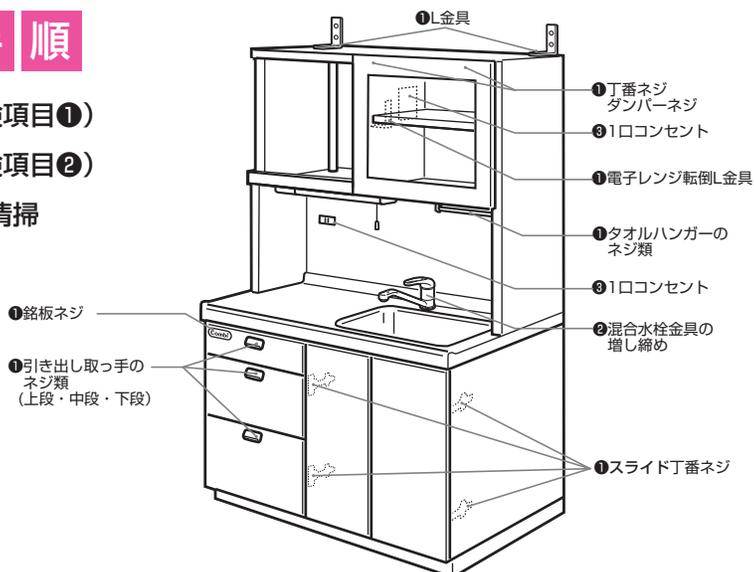
点検項目	点検方法	判断基準	不良の処置
定期点検項目			
① ネジ類の増し締め	プラスドライバー	増し締め確認	増し締め処置
② 水栓類の増し締め	モンキーレンチ	増し締め確認	増し締め処置
③ 電源プラグとコンセントの清掃	目視	ほこり、汚れがないこと	清掃
日常点検項目			
① 流水性の確認	動作・目視	水・お湯がスムーズに流れること	修理・交換
② 吐水口の動作確認	動作	吐水口の回転がスムーズであること	交換
③ 湯温の確認	動作	設定温度の湯が出ていること	修理・交換
④ 銘板、ネジ類のつぶれ、変形	目視	十字穴などのつぶれ、ネジの変形、錆の発生のないこと	銘板ネジ類：交換
⑤ 本体各部(キャビネットなど)に破損、割れの確認	目視・触感	ひび割れ、爪の引っかかりがないこと	修理・交換
⑥ キャビネット扉(左右)のゆるみやぐらつきがなく、開閉がスムーズであること	動作	手で動かし、ぐらつきの有無の確認、開閉具合、閉まり具合の確認	修理・交換
⑦ 引き出しのぐらつきがなく、開閉がスムーズであること 引き出しのストッパーが効いていること	動作	手で動かし、ぐらつきの有無の確認、開閉具合、閉まり具合、ストッパーの効果の確認	修理・交換
⑧ 跳ね上げ扉のゆるみやぐらつきがなく、開閉がスムーズであること 上に上げたとき、止まること	動作	手で動かし、ぐらつきの有無の確認、開閉具合、閉まり具合の確認	修理・交換
⑨ LED照明の動作確認	動作	LED照明が正常に点灯すること	ユニットの交換
⑩ ステッカーのはがれなど	目視	はがれ、汚れなどないこと	交換
⑪ 配管の破損および水漏れの確認	目視・触感	割れ、破損、水漏れのないこと	修理・交換

2 定期点検手順

1 ネジ類の増し締め(定期点検項目①)

2 水栓類の増し締め(定期点検項目②)

3 電源プラグとコンセントの清掃
(定期点検項目③)



Combi 調乳ユニットCU22 交換手順書

日常点検や定期点検で異常を発見し、新しい部品と交換する場合は、この交換手順書をよくお読みの上、正しく交換してください。部品交換作業は弊社でも有料にて承っております。詳しくは、サービスセンターへお問い合わせください。

専用台扉の交換手順

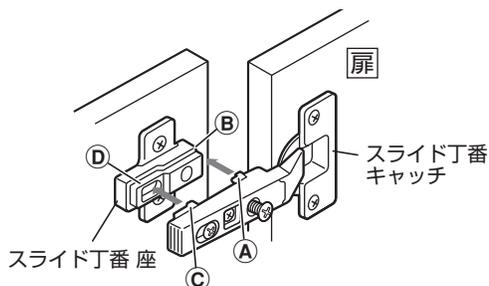


- 各調節ネジは、必ず手まわしドライバーにて、調節ネジの調節範囲内での微調整を行ってください。
- エア・電動・充電ドライバーでの調整は、ネジのかしめ加工部に過大なトルクが加わった場合に、ネジ山の破損（空回りや調節ネジの脱落）により、機能不良となることがありますのでおやめください。

扉の取り付けと取りはずし方法

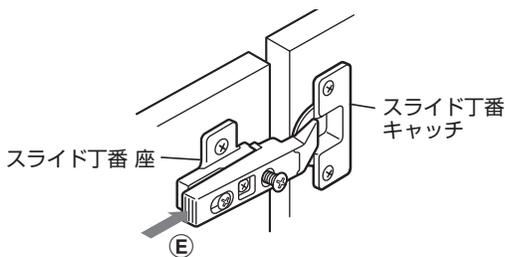
<取り付け方法>

④のツメを③部にひっかけ、⑤のツメを②部にはめる。

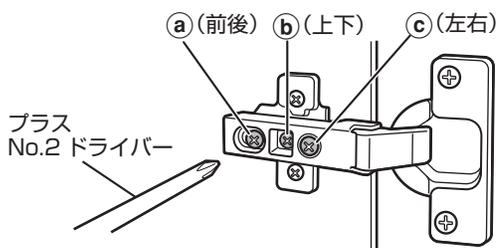


<取りはずし方法>

⑥部を押しロック解除し、スライド丁番キャッチをスライド丁番座から取りはずします。

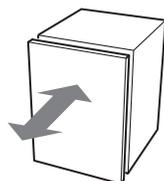


扉の調節方法



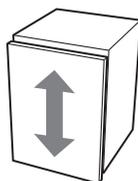
調節可能範囲

- ① 前後調整 ±2mm
- ② 上下調整 ±1.5mm
- ③ 左右調整 ±2mm



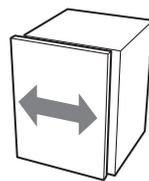
前後調節

ネジ①をゆるめ、キャビネット扉(左右)を前後に動かし適当な位置を選び、しっかりネジを締めます。



上下調節

ネジ②をゆるめ、キャビネット扉(左右)を上下に動かし適当な位置を選び、しっかりネジを締めます。



左右調節

ネジ③を左右にまわして適当な位置を選びます。

<キャビネット扉(左右)がガタつく場合は>

キャビネット扉(左右)を固定する前後調節ネジ①は緩んでいませんか？

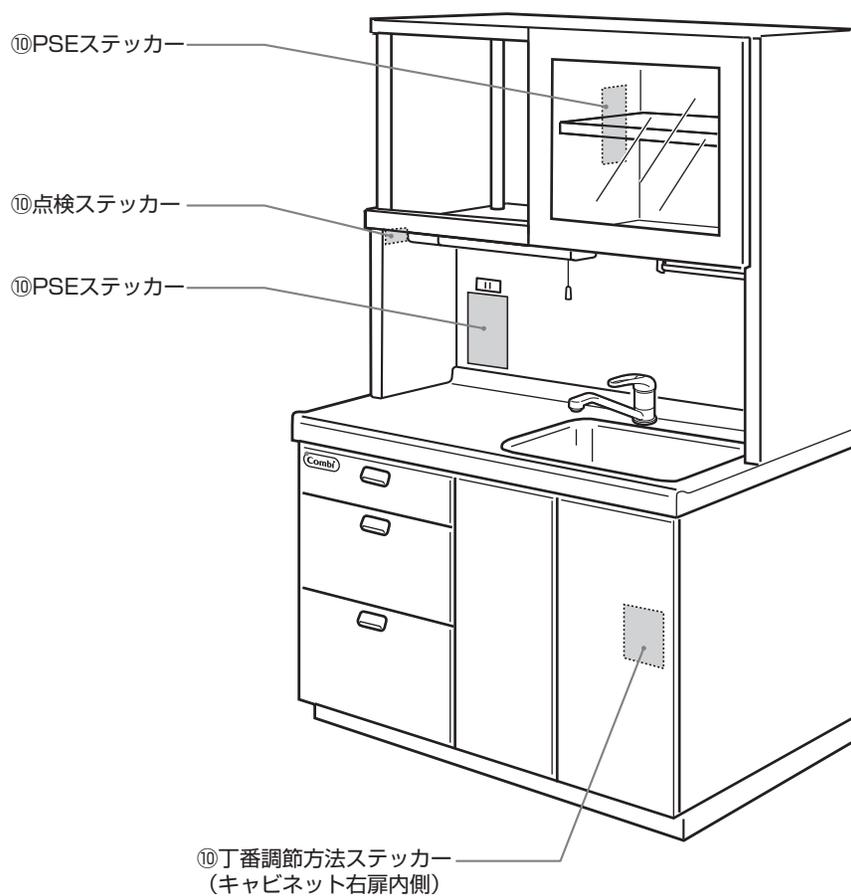
緩んでいる場合は、しっかり締め直してください。



キャビネット扉(左右)のスライド丁番の開き角度は100度までとなっています。それ以上開きますと、スライド丁番座を締め付けているネジが抜けて脱落するおそれがありますので、十分ご注意ください。

ステッカー交換手順

ステッカーの表示がかすれて見づらくなったり、はがれたりした場合は交換します。その際は、前と同じ位置に貼るようにしてください。



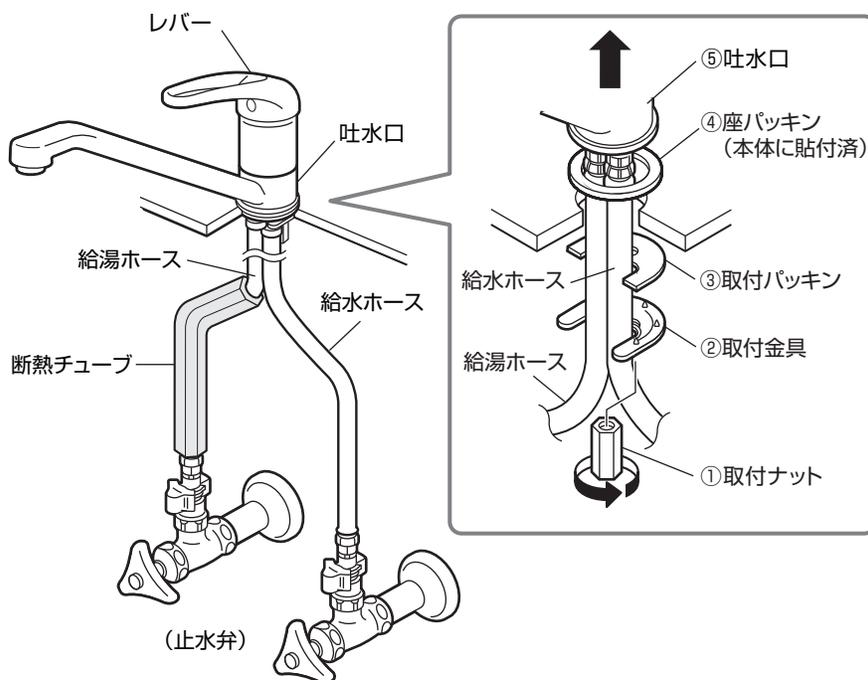
吐水口一式交換手順

吐水口一式の取りはずし方法

1 吐水口一式を本体から次の順序で取りはずす。

止水弁を閉め、給湯ホースの温度が十分下がってから作業してください。

- ①取付ナットをはずします。
- ②取付金具をはずします。
- ③取付パッキンをはずします。
- ④座パッキンをはずします。
- ⑤最後に吐水口一式を引き抜き、取りはずします。



吐水口一式の取り付け方法

1 新しい吐水口一式を、取りはずし方法の逆順序で取り付ける。

- ①新しい座パッキンを通し、吐水口の下部を沐浴槽本体の穴に通します。
- ②次に、取付パッキン、取付金具を通し、取付ナットで締め付け、固定します。

保証書

製品名	Combi 調乳ユニット CU22	 <p>製造番号 (キャビネット右側板内側の 製造番号を参照ください。)</p>
保証期間	納品から 正規のご使用下で1年間	

お客さま	お名前		
	ご住所	〒	—
販売店名	TEL. () —		
	納品日	年	月 日

取扱説明書および本体注意書きラベルなどの記載内容に従った正常な使用状態で故障した場合、本書を提示の上、販売店または下記コンビウィズ株式会社にご連絡ください。保証期間内にて無料で修理いたします。

●保証期間中であっても、次の場合は有料修理となります。

- | | |
|--|--|
| ①本来の使用用途以外でのご使用に起因する故障。 | ⑦水質汚濁(赤錆も含む)による目詰まりや給湯不良。 |
| ②適切な維持管理を怠ったことに起因する故障。 | ⑧天災/天変地異(火災、落雷、噴火、洪水、津波、地震)、 |
| ③メーカー、販売元が指定する業者以外の修理・調整・改造に起因する破損・故障。 | 戦争/暴動等による不具合。 |
| ④保管環境の影響など本製品以外の外部影響に起因する破損・故障。 | ⑨本書に納品日、お客さま名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。 |
| ⑤ご購入後の輸送、落下などに起因する破損・故障。 | ⑩本書のご提示がない場合。 |
| ⑥経年劣化、消耗部品の過酷な使用状況による故障。 | ⑪有料修理の場合に要する発送運賃。 |

●上記保証は日本国内においてのみ有効です。

●定期点検を実施しなかった場合の不具合は対象外です。

●生産終了後の製品については必要部品の在庫がなくなった場合、修理できないこともあります。

●この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明な場合は、当社サービスセンターにお問い合わせください。

●保証書にご記載いただきました個人情報につきましては、個人情報保護法の規定に従い、お客さまの故障修理についてのみ利用させていただきます。それ以外の用途には利用いたしません。

※定期点検の結果、不具合発生が認められた場合は、上記範囲内での保証とさせていただきます。

コンビウィズ株式会社

〒111-0041 東京都台東区元浅草2-6-7

サービスセンター TEL:03-5806-4621 FAX:03-5828-7630

(受付時間) 祝祭日を除く月～金 10:00～17:00

Combi

本マニュアルは、コンビウィズ ホームページ(www.combiwith.co.jp)からもダウンロード(PDF)できます。ご活用の程、お願いいたします。

- 製品に関するお問い合わせ

コンビウィズ株式会社

本社/〒111-0041 東京都台東区元浅草2-6-7
URL/www.combiwith.co.jp

- 修理・点検に関するお問い合わせ／コンビウィズ(株) サービスセンター

【受付時間】 祝祭日を除く、月～金 10:00～17:00

TEL.03-5806-4621 FAX.03-5828-7630